



HIVE Flow



**HIVE Flow
Mini**

日本語 サウナストーブ

2-31



info@huum.jp www.huum.jp

Patent pending
BimSchV II
Ecodesign 2015/1185

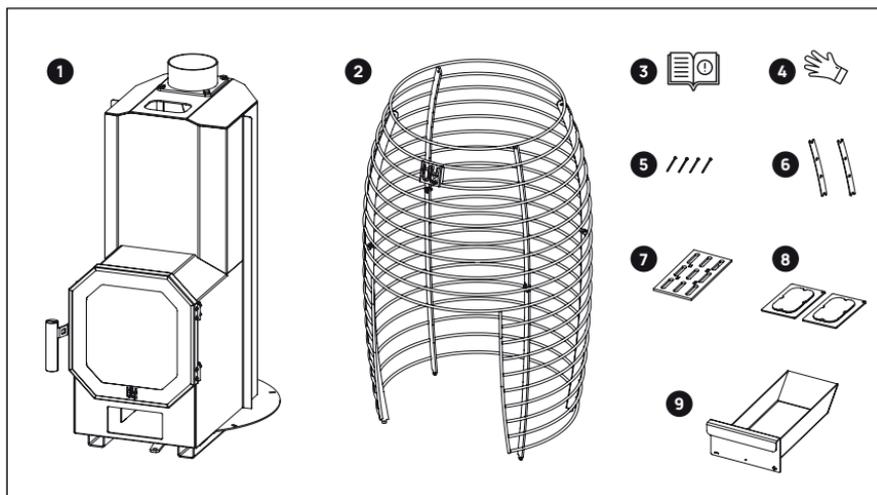
目次

概要	4
サウナストーブの設置	6
設置前の慣らし焚き	6
床面	8
離隔距離	8
煙突・煙道との接続	11
サウナ室	12
サウナ室の内装材と断熱	12
サウナ室内の壁と色変化	13
サウナ室の床	13
換気	14
サウナのご使用	15
サウナストーン	15
ストーブの焚き方	16
火のつけ方	17
薪のくべ方	18
ロウリュ	20
ご使用後	20
お手入れ	21
サウナストーブの撤去	22
使用上の注意	22
よくある問題と原因	23
保証	25
付録1 - 製品仕様	26
付録2 - 「ハイブフロー」適合宣言書	27
付録3 - 「ハイブフロー・ミニ」適合宣言書	28
付録4 - 部品・メンテナンス用品	29
付録5 - 別売品	30

HIVE Flow

サウナストーブ

設置・取扱説明書



HUUM サウナストーブ HIVE Flow 同梱物:

- ① 薪サウナストーブ
- ② サウナストーンガード
- ③ 設置・取扱説明書
- ④ 耐熱グローブ
- ⑤ 分割ピン
- ⑥ 金属製固定用プレート (2枚)
- ⑦ ロストル
- ⑧ 掃除口 (2個)
- ⑨ 灰受け皿

予備部品の製品番号は付録4又は5をご参照ください。

注意! サウナストーブの使用には、別途サウナストーンが必要です。HUUMサウナストーン5~10cm (付録5参照)の使用を推奨します。

注意! 本サウナストーブの煙突への接続は専門業者に依頼してください。

概要

HUUMサウナストーブ「HIVE Flow」をご購入いただき誠にありがとうございます。本製品は、サウナストーブ市場において最もクリーンな燃焼を誇り、唯一無二のサウナ体験を提供すると同時に、環境への負担を最小限に抑えます。

安全で快適なサウナのため、この説明書をよくお読みの上、大切に保管してください。

最新の説明書はHUUMのHP上にご覧いただけます。(huum.jp)

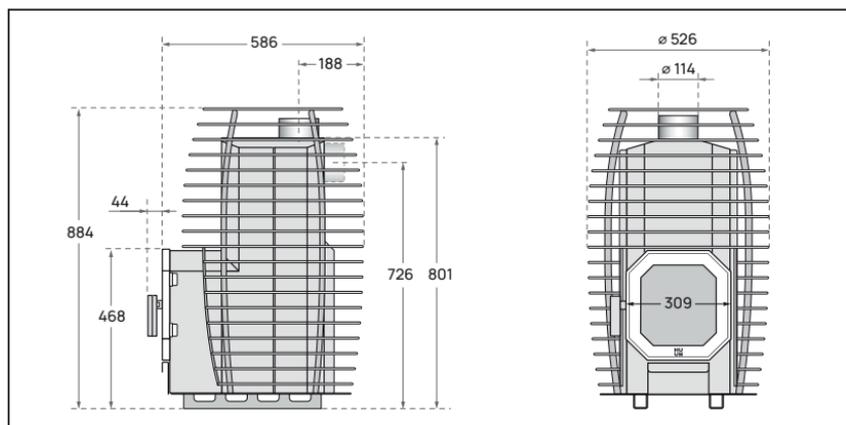


図1 サウナストーブ HIVE Flow 寸法

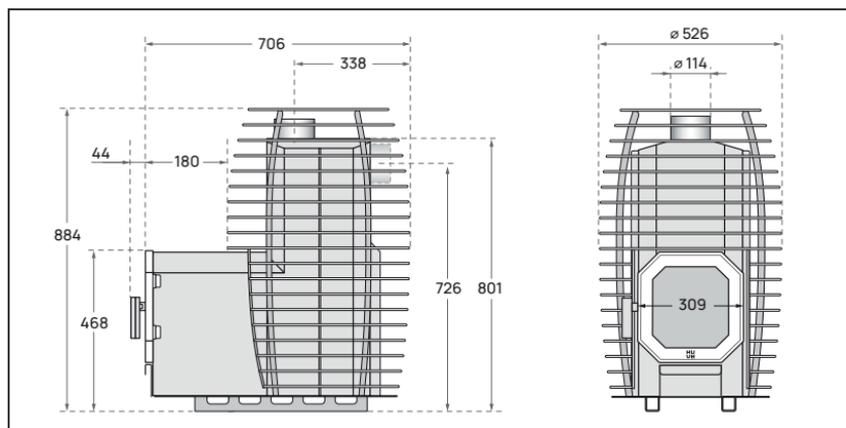


図2 サウナストーブ HIVE Flow LS 寸法

- 取扱説明書には、サウナストーブの仕様、設置、使用、メンテナンスに必要な情報が記載されています。
- 本製品はサウナストーブとしてのみで使用になります。
- サウナストーブの改造は禁止されており、重大な問題を引き起こすことがあります。また、その際は保証対象となりません。
- HUUM純正の部品・メンテナンス用品をご使用ください。(59ページの付録4参照)
- サウナストーブの本体貼付ラベルをいじったり、はがしたりしてはいけません。
- サウナストーブの仕様は付録1をご参照ください。

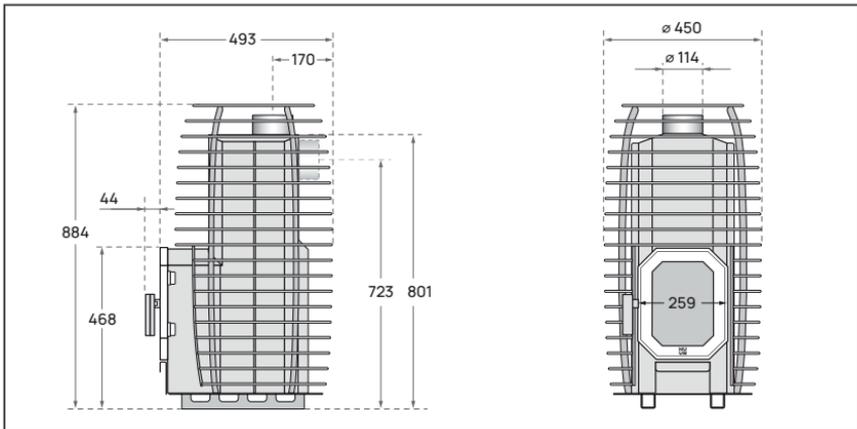


図3 サウナストーブ HIVE Flow Mini 寸法

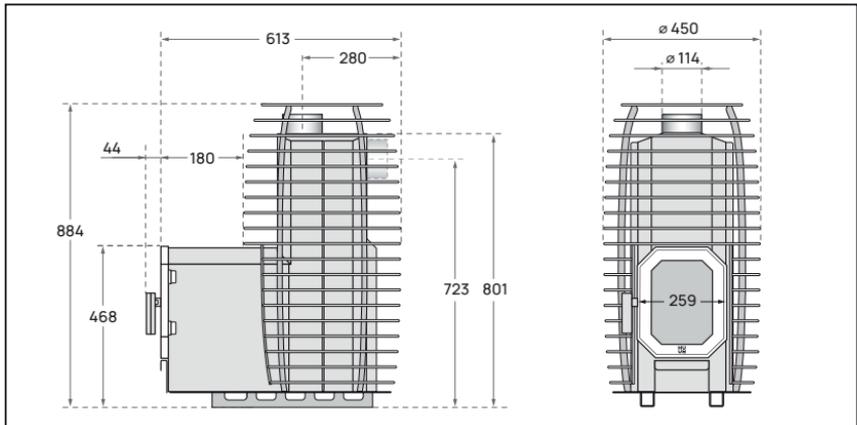


図4 サウナストーブ HIVE Flow Mini LS 寸法

サウナストーブの設置

- ・ サウナストーブ設置の際は、お住まいの国・地域の法令・基準を遵守してください。
- ・ サウナストーブの設置・使用前に、サウナ室がサウナストーブの設置基準を満たしているか必ずご確認ください。ご不明な点がございましたら、お住まいの国・地域、市町村の消防庁または消防署までお問い合わせください。
- ・ 付録1で各ストーブに対応するサウナ室の体積を参照の上、サウナストーブの性能がサウナ室の大きさに適正であるか、設置前に必ずご確認ください。サウナ室の壁が断熱性を欠くレンガ、タイル、ガラスである場合、 1m^2 あたり 1m^3 をサウナ室体積に追加して計算してください。
- ・ サウナストーブ設置可能なサウナ室の最大体積は、EN15821:2010基準に基づいて計算されています。

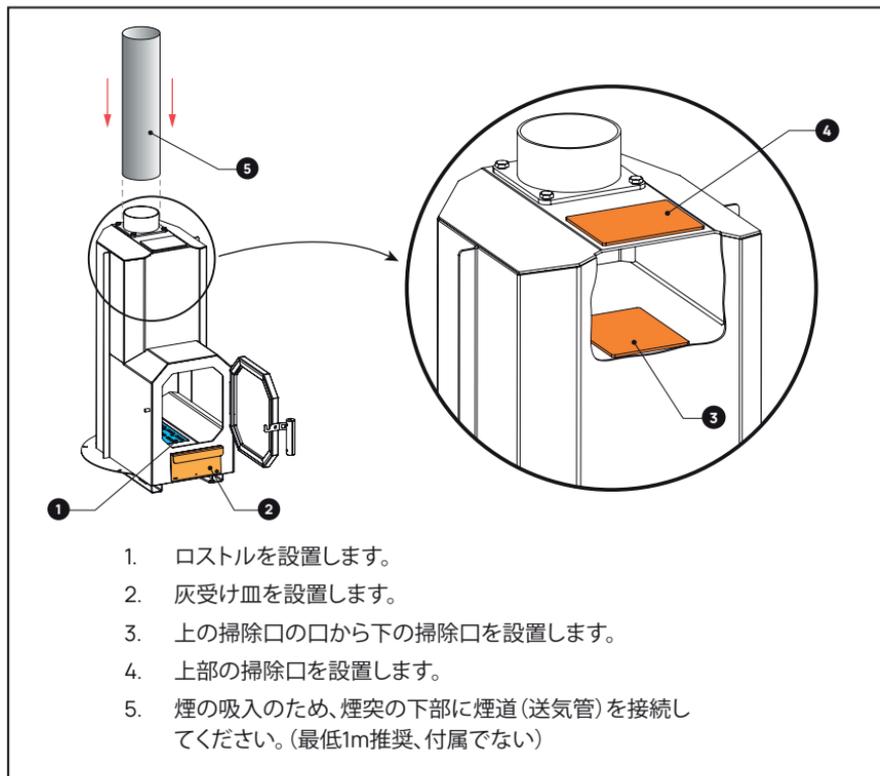
注意! サウナストーブの性能が設置場所に見合わない場合、断熱なしの面積が考慮されていない場合、またサウナ室の換気が十分でない場合、メーカー保証対象となりません



サウナの施工に
ついでの詳細は
こちら

設置前の慣らし焚き

重要! サウナ室への設置前に、消防法等を遵守し安全を確認の上、最低一度、屋外でサウナストーブを焚いてください。初めて焚く際に、サウナストーブの塗料から有害物質や不快なにおいが発生します。慣らしだきをすることで塗料の耐久性が得られます。



1. ロストルを設置します。
2. 灰受け皿を設置します。
3. 上の掃除口の口から下の掃除口を設置します。
4. 上部の掃除口を設置します。
5. 煙の吸入のため、煙突の下部に煙道(送気管)を接続してください。(最低1m推奨、付属でない)

図5 慣らし焚きのためのサウナストーブの組み立て方

換気の良く風を防げる野外で、サウナストーブを焚いてください。
ストーブ全体が均等に温まることが重要です。

- ・ サウナストーブの表面を傷つけないよう、ご注意ください。
 - ・ 慣らし焚きの際、ストーンガードは取り外してください。
 - ・ サウナストーンは使用しないでください。
 - ・ ロウリュはしないでください。
 - ・ 燃烧室一杯、二杯程度の量の薪を使用してください。
 - ・ ストーブの表面から目に見える煙と蒸気が出なくなったら、慣らし焚き完了です。
 - ・ 燃烧室ドアを常時少し開けたままにして焚いてください。
慣らし焚きの際はドアを閉めてはいけません。(図6参照)
- 注意!** ガスケットはサウナストーブの本体に張り付いて、ドアから外れることがあります。

- ・ サウナストーブの効率的な燃烧のためには、最終的な設置時に使用する煙道(送気管)をご使用ください。

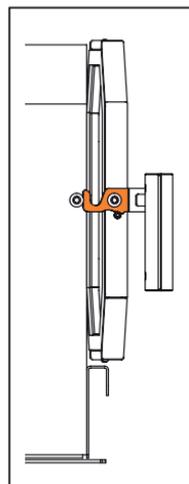


図6 燃烧室の扉の位置

床面

サウナストーブは、不燃材料でできた十分な積載荷重のある床面に設置してください。一例として、最低50 mmの厚さのコンクリートの床が適しています。

床暖房の配線や配管がサウナストーブの下に位置する場合、HUUM炉台もしくは不燃性を有し、十分な厚さと積載荷重のある保護台等を追加してください。HUUM炉台については60ページの付録5をご参照ください。

不燃材料でない床面の場合、HUUM炉台もしくは不燃性を有し、十分な厚さと積載荷重のある保護台等を使用しなければいけません。通気のため、台と床面の間に最低30 mmの隙間を残してください

離隔距離

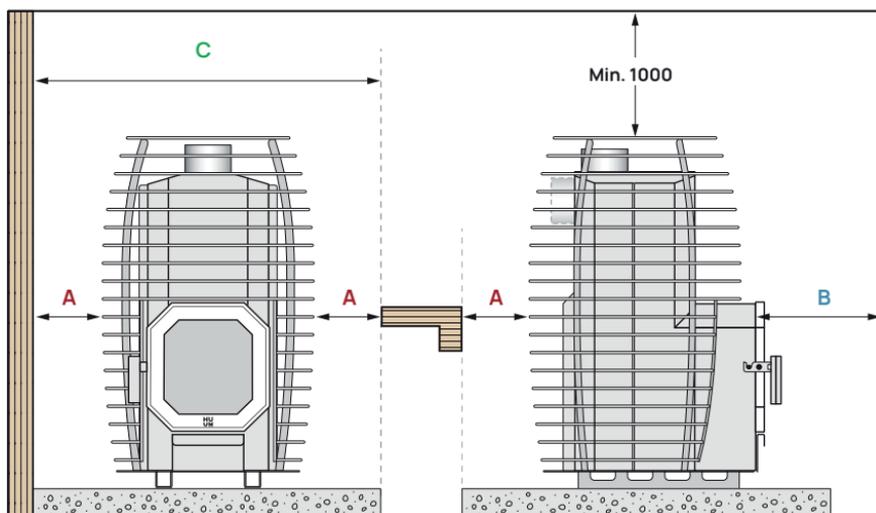


図7 サウナストーブ HIVE Flow 可燃材料からの離隔距離(木製の壁、ベンチなど)

表 1	体積 m ³	重量 kg	サウナ ストーン の量 kg	A mm	B mm	C mm
Flow	8-18	67	150	150	500	826
Flow LS	8-18	73	150	150	500	826
Flow Mini	6-14	54	105	150	500	750
Flow Mini LS	6-14	59	105	150	500	750

不燃材料の壁とストーブの間は最低50mm空けてください。

不燃材料を用いた保護板を取り付けることで**離隔距離の短縮が可能**です。軽量保護板一層を使用の場合は50%、二層の場合最大75%、離隔距離を短縮することができます。保護板の厚さ自体も離隔距離に含まれ、離隔距離としてストーブから可燃材までを計測します。保護板は、サウナストーブから最低50mm離して設置してください。

サウナストーブから天井までの離隔距離は、一層の保護板を使用することで25%縮小可能です。天井には二層使用は行いません。

一層の軽量保護板には、厚さ最低7mmの不燃繊維強化セメント、または厚さ最低1mmの金属板をご使用ください。保護板と壁等の保護対象物の間に最低30mmの空間を設け、しっかりと固定してください。

二層の軽量保護板は、同じ素材を用い、保護板同士、また板と壁の間それぞれに30mmの距離を設けてください。通気のため、最低30mmの空間が必要です。

注意! 離隔距離を短縮する際は、お住まいの国・地域の法令・基準を確認の上、それに則って行ってください。

煙突・煙道は、各製品メーカーの取扱説明書に記載の離隔距離を守って設置してください。

サウナストーブ前の可燃材床面を保護するため、ストーブの燃焼室ドア両端から幅最低100mm、ストーブ前方に長さ最低400mmの板金を配置してください。ドアを開けた際、炭がストーブ下に入り込むことを防ぐため、ストーブ側のプレートの端を上方へ折り曲げてください。HUUMの床面保護板(別売)については、**60ページの付録5**をご参照ください

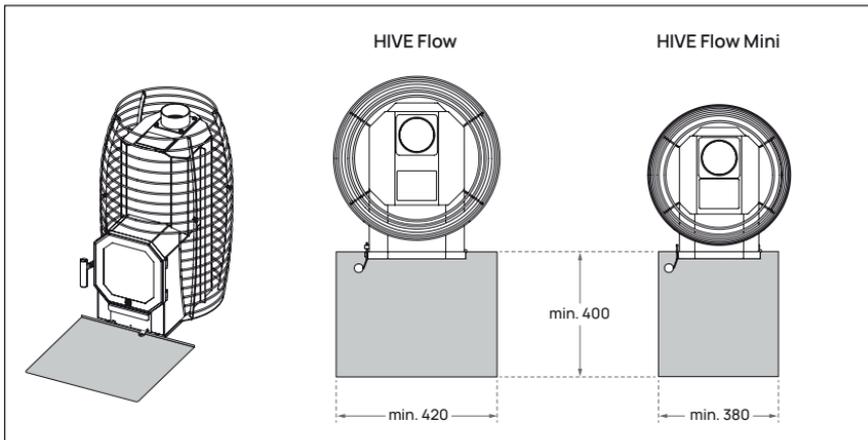


図8 サウナストーブ HIVE Flow、HIVE Flow Mini 床面保護板(別売)。

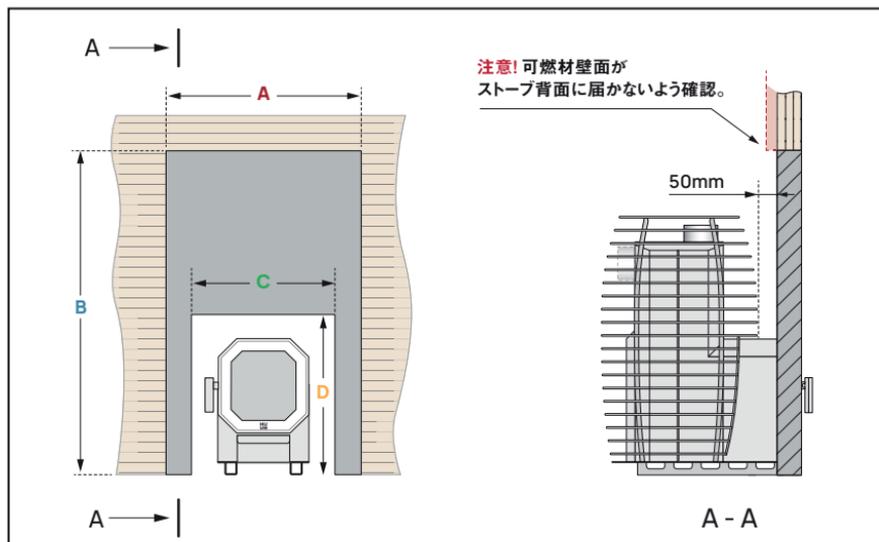


図9 サウナストーブ HIVE Flow LS HIVE Flow, Mini LS の壁面取付

不燃材の壁と接続口のサイズは、「HIVE Flow LS」については表2、HIVE Flow Mini LSについては表3をご覧ください。

表2.	A mm	B mm	C mm	D mm
床面設置 HUUM取付カラー不使用	650	1050	320	470
床面設置 HUUM取付カラー使用	650	1050	485	560
炉台設置 HUUM取付カラー使用	650	1100	485	615

表3.	A mm	B mm	C mm	D mm
床面設置 HUUM取付カラー不使用	650	1050	270	470
床面設置 HUUM取付カラー使用	650	1050	435	560
炉台設置 HUUM取付カラー使用	650	1100	435	615

炉台と取付カラーは、サウナストーブ施工の簡易化と仕上げのための別売り商品です。HUUM取付カラー使用時の不燃材料の壁厚は最大150mm、使用しない場合は最大100mmです。詳細は付録5をご覧ください。

煙突・煙道との接続

重要! 煙突の施工・設置は、専門の有資格者によって行われなければいけません

煙突は、必ず付録 1 記載の仕様に合うものをご使用ください。

サウナストーブ「ハイブフロー」は、ストーブ背面または上部からの煙突への接続が可能です。

背面から接続する場合、ボルトで固定してあるカバーと煙突接続部の位置を交換してください。

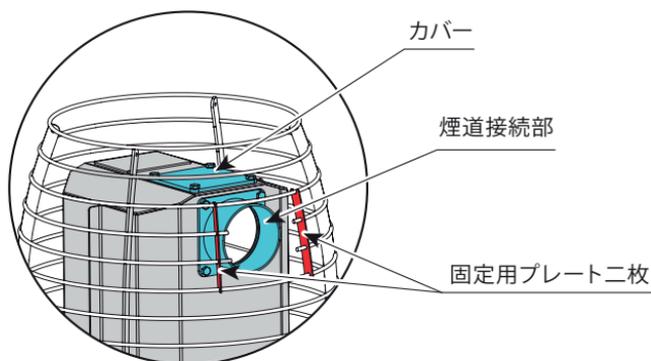


図 10 HIVE Flow 背面接続の際は、煙突の直径に合わせてストーンカバーのワイヤー 2 本を切り取り、その端を付属の固定用プレートで固定してください

- ・ サウナストーブの煙突への接続には、必ずお住まいの国・地域、市町村の基準を満たす部品をご使用ください。HUUMは標準的な煙突キットを販売しております。詳しくは付録5をご参照ください。
- ・ 煙突の結合部・接続部は、専用の耐熱コードやロックウールで密閉してください。
- ・ 煙突・煙道の施工に際しては、メーカー規定の離隔距離を遵守してください。

説明書に則ってご使用の場合、排ガスの平均温度・最高温度はともに400°C以下となりますので、既に同家屋に煙突設備が整っている場合、既存の設備につなげることが可能です。

注意! お住まいの場所によって規定が異なりますので、必ずお住まいの国・地域または市町村管轄の消防署等にご確認ください。

サウナ室

サウナ室の内装材と断熱

サウナ室内の熱吸収性を持つ壁面（ガラス、コンクリート、レンガ、漆喰）を断熱することで、サウナ室の熱損失、サウナストーブの過熱を防ぎ、薪サウナストーブを効率よくご使用になられます。

サウナ室の高断熱性を実現するために

1. 厚さ50 mm～100 mmの断熱材をご使用ください。PUR-PIRフォーム（ポリウレタン剛性断熱）が最適です。
2. 防湿層を欠く断熱材の場合、アルミクラフト紙等をアルミテープで留めます。
3. 防湿材と羽目板の間に10mmの通気層を取ります。
4. 内装には厚さ12～16mmの羽目板が適しています。羽目板取付前に、電気配線やストーブやサウナベンチの設置のための補強が充分であるか確認してください。
5. 床からの湿気を防ぐため、壁の羽目板は床から最低100mmの高さから張ってください。
6. 壁材と天井材の間に5mm以上の通気層を設けます。
7. サウナ室内の木製部分は、汚れが吸着しないよう、サウナ用パラフィンオイルやサウナワックスで仕上げます。

サウナ室の天井

サウナストーブの性能を最大限生かすため、サウナ室の天井高は2000～2300mmを推奨します。推奨高を超える場合、サウナ室の天井を低くし、体積を縮小するとよいでしょう。

1. HUUMフローをお使いいただける最低天井高は1900mmです。
2. サウナベンチの上段から天井までは1100～1300mmの高さにします。
3. サウナ室の天井は壁と同様に断熱してください。

注意！ サウナ室の壁や天井を無機質系断熱材等の断熱材で覆う場合、通気層を開けることが必須です。直接取り付けした場合、壁や天井が過熱する恐れがあり危険です。

注意！ 防火壁を含む場合、その断熱が許可されているか、お住まいの各自治体の管轄部署にご確認ください。また煙突の断熱は禁止されています。

サウナ室の壁と色変化

サウナ室の木材は、室内が高温となるため、長年の使用に伴い黒ずむことがあります。これは自然な変化で、危険性はございません。多くの場合、木材保護塗料の黒ずみです。また、サウナストーンからの細かい粉が原因の場合もございます。メーカー規定を遵守いただいた場合、サウナ室の可燃材料は危険性を伴う高温にはなりません。

注意! サウナ室内の壁面・天井面が140°Cを超えないようご注意ください。

サウナ室の床

長期のご使用に伴い、急激な温度変化の影響でサウナストーンが割れることがあり、ロウリュの際に石の細かい破片や粉がサウナ室の床に散らばることがあります。

ビニル床材の場合、熱い石の破片がストーブの下や近くの床を傷つける恐れがあります。サウナストーンやロウリュの水(特に鉄分の多い水)の飛沫が、タイル間のグラウトに吸収され、色変化を引き起こすことがあります。

デザイン的な損傷・劣化を防ぐため、サウナストーブの下部や周囲には、セラミックタイルと暗色系グラウトを合わせて用いることを推奨します。

換気

サウナ室の換気システムが十分であることをご確認ください。薪の燃焼には、1キログラムあたり6~10m³の酸素を十分に含む空気を要します。新鮮な空気は、できるだけサウナストーブ付近へ送るようにします。

健康に快適なサウナを楽しんでいただくために、サウナ室内の十分な空気の対流が不可欠です。サウナ室の換気システムに関する詳細はHUUMのウェブサイトをご覧ください。

(huum.eu, HUUMブログ「サウナの換気」(HUUM Blog - Sauna ventilation))

サウナご使用後は、過剰な湿度を逃すためにしっかり換気してください。

注意! 機械換気(強制換気)を用いると、サウナ室内の空気の入れ替えに問題が生じたり、サウナストーブ内の燃焼空気が不足する可能性があります。

サウナストーブの設置・使用前に、既存の換気システムでストーブが使用可能か、ご確認ください。必要に応じて、専門家にご相談ください。

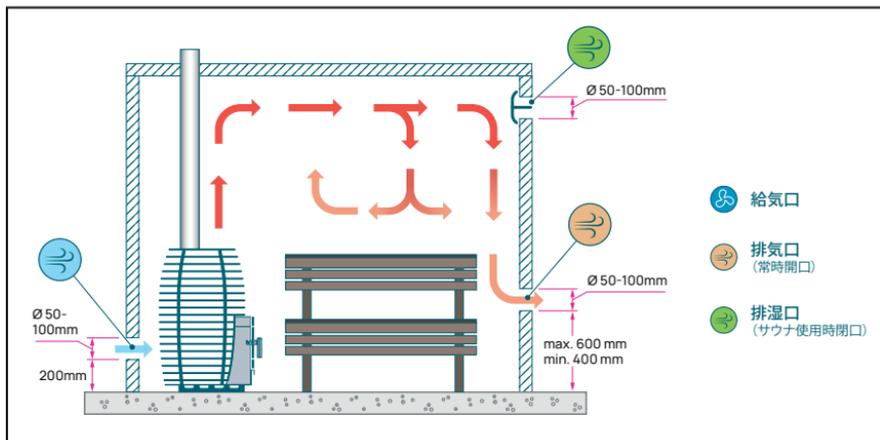


図 11 薪サウナの重力換気

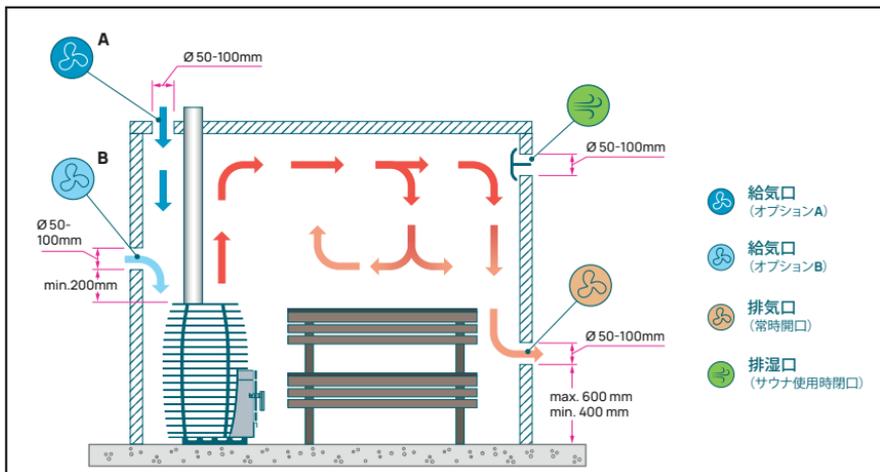


図 12 薪サウナの機械換気

サウナのご使用

サウナストーン

HUUM純正のサウナストーン(付録5の60ページ)のご使用を推奨します。自分で拾った石は、割れたりひびが入ったり、また有害物質を発生したりする場合があります、サウナに適しているとは限りません。

- ・ サウナストーンは、ご使用前に流水で埃等を洗い流してください。
- ・ サウナストーンを積む前に、2つの掃除口がしっかりと固定されているか確認してください。
- ・ サウナストーブに適したサウナ石の大きさや量については、付録1をご参照ください。
- ・ ハイプフローのストーンカバーは半分に分解可能です。下部へ石を積んだり、取り除いたりする際は、ストーンカバー上部を取り外し、煙突の結合が許す範囲まで持ち上げてください。(図13)
- ・ サウナストーンは、ストーンカバーとストーブの間に力尽くしに押し付けたりせず、一層一層均一に積み重ねてください。
- ・ サウナストーンを高く積み上げないでください。初めてのご使用前にストーンカバーの最上部と石の高さが同じであることを確認してください。(図14)

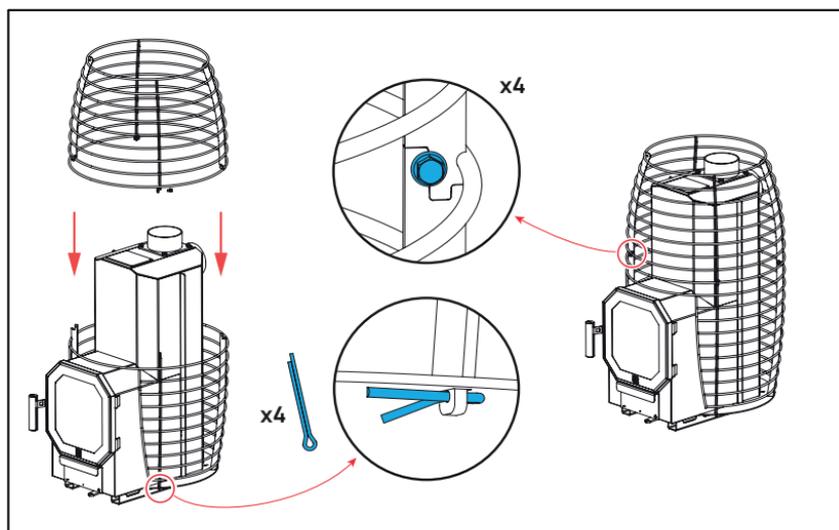


図13 HIVE Flow ストーンカバーの分解方法

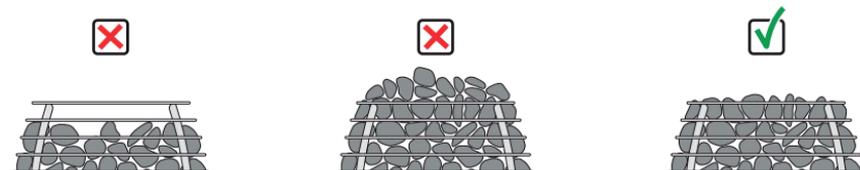


図14 HIVE Flow サウナ石の積み方

ストーブの焚き方



チュートリアル動画

重要! サウナストーブの設置前に、屋外で安全を確認の上で一度慣らし焚きをしてください。

- ・ ストーブの着火前に、周辺やストーブの上に可燃物がないことを確認してください。
- ・ 薪のみを使用してください。広葉樹、針葉樹共に使用できます。
- ・ 図16・17に記載の薪の規定最大量を超えないようご注意ください。
- ・ 薪の最適な水分含有量は10~15%です。乾燥した細い薪は燃えすぎ、ストーブや煙突の過熱の危険があります。水分含有量が多すぎると、燃えづらく、燃烧室ドアや煙突にピッチが付着することがあります。

注意! 薪以外の燃料(液体燃料等を含む)は使用しないでください

- ・ 長さ30cmの薪が最適です。最長で40cmまでご使用いただけます。
- ・ 均一な燃焼のため、同種類で同じ太さの薪の使用を推奨します。
- ・ 一本あたり重さ0.4~0.7キログラムの薪が最適です。太い薪は燃えるのに時間がかかり、サウナが温まるのに時間がかかります。細すぎる薪はすぐ燃えてしまうので、サウナストーブやサウナストーンが熱を保持できません。

警告! サウナストーブを覆ってはいけません。

- ・ サウナストーブに水タンクが取り付けられている場合、ストーブ着火前に水をためてください。
- ・ ロストルが詰まっていないことを確かめてから着火してください。必要に応じて火かき棒で炉内を掃除してください。その際、残っている炭はトレイに残したままにして構いません。灰受け皿が半分以上一杯の時は、灰を空にしてください。
- ・ 灰や燃焼残留物が灰受け皿の下に落ちないようにご注意ください。必要に応じて、灰受け皿を引き出し、掃除してください。
- ・ 掃除のため灰受け皿を引き出す際は、図15のように燃烧室ドアを開き、灰受け皿を持ち上げてから取り出します。(燃焼時に開きすぎないように、灰受け皿には安全ロックがついています)

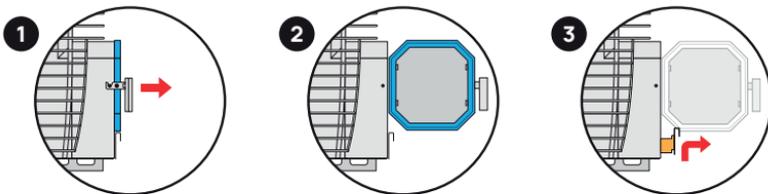


図15 HIVE Flow 灰受け皿の取り出し方

重要! 灰や炭は完全に鎮火・冷却してから、耐火性のごみ箱や可燃物容器に捨ててください。

- ・ 煙突内にドラフトがあることを確かめてください。確かでない場合は、炉内で紙を燃やして確認してください。
- ・ 付録 1 に記載の最大薪量を超えてはいけません。また、付録 1 に記載の薪を加える時間間隔を守ってください。乾燥した細い薪の場合は薪の総量を少なく調整してください。

注意! サウナストーブの焚きすぎにご注意ください。

ストーブ本体が赤くなっているのは焚きすぎのサインです。火力を調整するためにストーブ下部の空気弁をすぐに閉めてください。サウナストーブの過熱による変形や損傷については責任を負いかねます。

初めの数回は、通常体重計等を使用し、燃焼室に投入する薪の重量を量ってください。その後も折に触れて、特に薪の長さや種類を変更するとき等に、計量するようにしてください。

火のつけ方

サウナストーブに火をつける際は、中程度の太さの薪と、焚きつけ用の細い薪を少量準備します。一度に燃焼室に投入できる薪量は付録 1 に記載してございます。

- ・ まず一番下に細めの薪を並べます。
- ・ その上に太めの薪を置きます。
- ・ さらに、細い薪とともに焚きつけ用の細い薪を組みます。
- ・ 燃焼室の奥と薪の間に10mm程おき、できるだけ奥に薪を組んでください。
- ・ 薪の間に空間を取る必要はありませんので、間を詰めて組んでください。

組んだ薪の上から約4分の1の高さに着火します。固形着火剤やシラカバの樹皮を使用すると簡単に火が付きます。

重要! 組んだ薪の下から着火しないでください。

下から火をつけると、燃料が無駄になり、環境汚染につながります。また、ストーブや煙突が温まるのに時間がかかり、燃焼プロセスに時間がかかります。



動画
チュートリアル

- ・ サウナストーブの正面下部にある空気弁を全開にしてから着火してください。煙突のドラフトが強すぎたり、火の勢いが強すぎたりする場合、空気弁を調整して燃焼の速度をゆるめてください。
- ・ 着火してから15分は灰受け皿を少し引き出しておきます。灰受け皿には安全ロックがついておりますので3mm以上は引き出せません。
- ・ 着火してから約2分間燃焼室ドアを数ミリメートル開けておくことで、ドアに湿気や煤が付くのを防ぐことができます。

- 遅くとも着火から15分後には灰受け皿を完全に閉めます。それより早く燃焼が安定した場合、それに応じて閉めてください。その後、薪をくべる際も含めて、ずっと閉じたままにしておきます。

ストーブを焚いている間に灰受け皿を取り出してはいけません。灰受け皿が開いていたり、設置されていなかったりする場合、ストーブの過熱や非効率的な燃焼につながり危険です。

重要! 弊社は過熱によるストーブの損傷・破損に責任を負いません。誤ったご使用の場合、保証できかねます旨、ご了承ください。

警告! サウナストーブ、サウナストーン、およびその周辺は使用中大変熱くなります。触ってはいけません!

注意! 燃焼が激しいときに燃焼室ドアを開けないでください。燃焼室から炎がせり出てくる可能性があり、危険です。どうしてもドアを開ける必要がある場合、まず10秒間ほど数ミリメートル開け、その後必要なだけドアを開いてください。

薪のくべ方

着火後初めて薪をくべるのは、はじめに組んだ薪が崩れ、熾火ができてからです。薪をくべるのが早すぎると効率が下がり、煙突内の煙が高温になる恐れがあります。

- 均一な大きさの薪を選びます。
- 燃焼室の3分の2の高さを超えないように、薪をくべます。
- 図16と17に薪の最大量が記載されています。
- 薪をくべる前に、火かき棒で炭を混ぜます。
- 燃焼室の奥まで隙間を空けずに薪を入れてください。
- 灰受け皿が奥まで完全にしまっていることを確認してください。
- 燃焼室のドアを閉めてください。

ご希望のサウナの温度まで上げるため、必要に応じてもう一度同じように薪をくべてください。

重要! 着火時を除き、灰受け皿はずっと閉じたままにしてください。

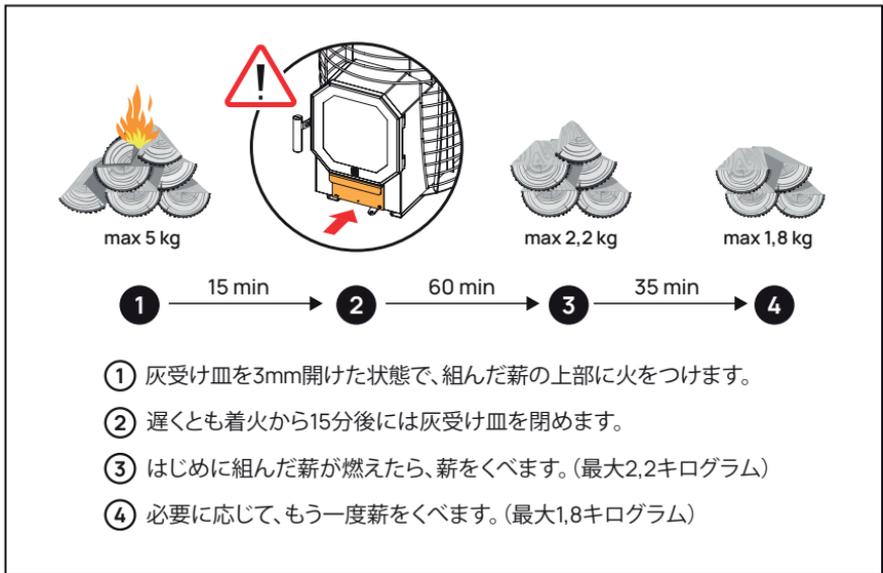


図16 HIVE Flow 着火と薪のくべ方

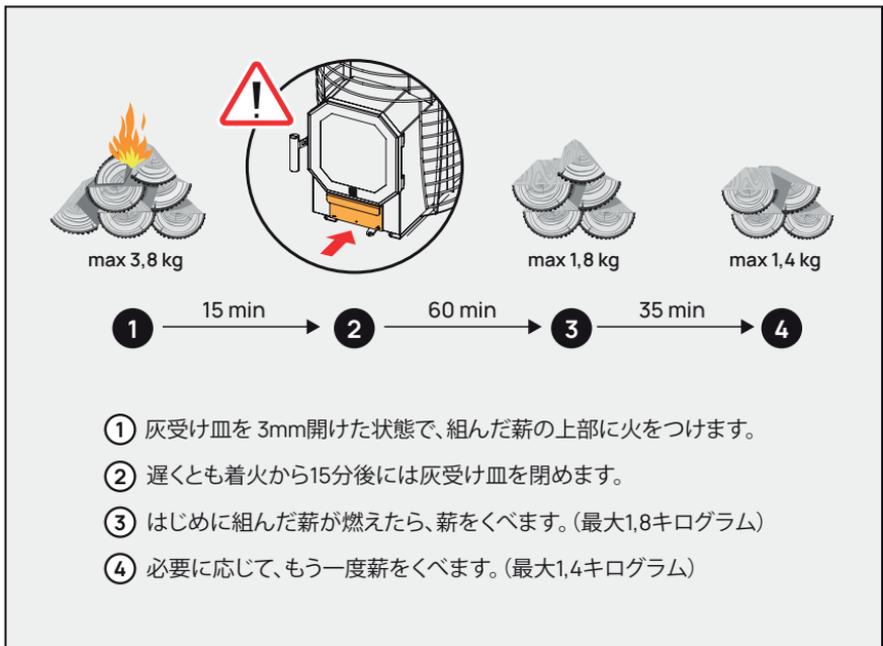


図17 HIVE Flow Mini 着火と薪のくべ方

ロウリュ

サウナ室の空気は室温が上がるにつれ乾燥します。熱い石に水をかけてロウリュをすることで、気持ちの良い湿度が実現でき、サウナを最大限にお楽しみいただけます。

- ・ サウナストーンがしっかり熱くなり、石からの水分が完全に蒸発してからロウリュを始めてください。
- ・ ロウリュにはきれいな温水をご使用ください。硬度の高すぎる水や鉄分の多い水は、サウナ石の劣化につながります。サウナストーブの腐食を導きますので、塩分や塩素を含む水の使用はお控えください。
- ・ 一度のロウリュで約80 mlの水をご使用ください。もう一度ロウリュをする前に2分ほど時間を空けて、サウナ石の乾燥と再加熱を待ってから、同量の水を石にかけてください。
- ・ オイルベースのアロマオイルをご使用の際は、あらかじめロウリュの水に薄めてからお使いください。サウナストーブやサウナストーン上で発火する恐れがあります。
- ・ サウナストーン上に均等に水をかけてください。

注意! 熱い蒸気によるやけどの恐れがありますので、サウナストーブの直近に人がいる場合はロウリュをしないでください。

ご使用後

ストーブの性質上、炭が多く残ります。薪の量によりますが、厚い炭の層ができ、心地よい暖かさが長く続きます。

サウナストーブをご使用后、炭を速く燃してしまいたい場合

- ・ 火かき棒で炭をかきまぜ、燃焼室の中心に山を作ります。
- ・ 灰受け皿を最大限(安全ロックのため3mmまで)引き出してください。新鮮な空気が燃焼室に入り、炭が盛んに燃え始めます。

サウナ浴の最中に炭が燃えるよう、タイミングを調整することで、薪の節約になると同時に、より心地よいサウナ環境が実現できます。

炭が完全に燃えたら、灰受け皿と燃焼室ドアの下にある空気弁を閉めてください。暖かさが持続します。

お手入れ

良質な薪を用いて正しくご使用の場合、本サウナストーブは煙突に煤・タールが付着しづらく、特別なお手入れは必要ございません。しかしながら、最低でも一年に一度はプロの煙突掃除サービスに依頼し、煙突、煙道と煙突の接続部、サウナストーブ内の煙道を清掃してください。その際、お住まいの地域の消防法、地域の火災予防条例等を遵守してください（RTL1998,195/196, 771, RTL2000,99,1555）。

一年に一度はサウナストーブ内の煙道を掃除してください。上半分のサウナストーンを取り出し、サウナストーブの掃除口に確実に手が届くようにします。炉内に煤やタールが付着している時は、専門業者に掃除を依頼してください。

最低でも年に一度はサウナストーンの状態を確認してください。

ひびが入ったりその他の損傷が見受けられるものは新しい石と交換してください。サウナご利用の頻度によって様々ですが、平均的に二年に一度はサウナストーンの一部または全部の交換が必要です。古くなった石を使い続けていると、温まるのに時間がかかり、サウナストーブに負担がかかります。また、燃料の無駄、サウナ浴の質の低下にもつながります。



チューンアップ動画

燃烧室ドアガラスを定期的に掃除してください（ストーブご使用前毎回推奨）。薪ストーブ用ガラスクリーナーをご使用ください。または、濡らしたキッチンペーパーに灰をつけ、煤をこすってから、新しいきれいなキッチンペーパーでふき取ってください。

燃烧室ドアのガラスを掃除する度に**ガスケットの状態をご確認ください**。ガスケットが損傷していたり、外れていたりする場合は、ストーブを焚いてはいけません。燃烧室に多量の空気が入り、サウナストーブの過熱につながります。ガスケットはご自分で交換いただけます。ガスケットと接着剤はHUUMのメンテナンス用品として販売してございます（59ページの付録4）。

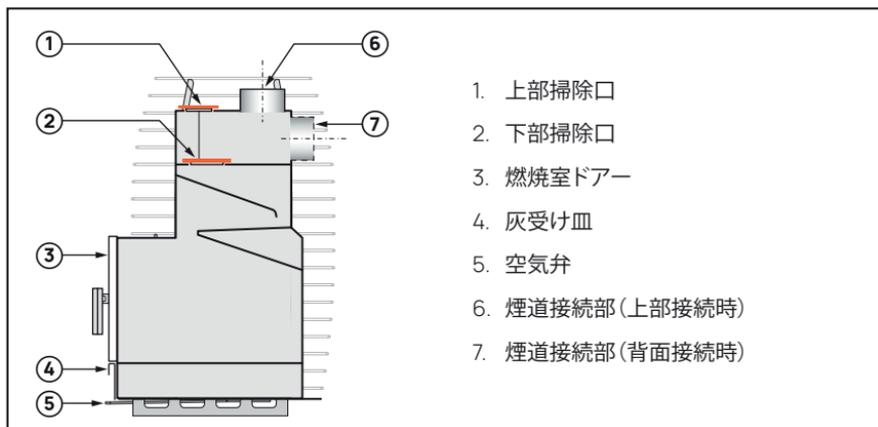


図18 HIVE Flowサウナストーブ詳細

サウナストーブの撤去

HUUM社のサウナストーブは環境フットプリントを最小限にとどめることを使命としています。

サウナストーブを撤去する場合、ストーブ本体と付属品等は、法令基準順守の上でお住まいの地域の自治体の決まりに則って処分してください。

サウナストーブの撤去・処分

1. 燃烧室と煙突・煙道を清掃する。
2. ストーブを煙突・煙道から外し、煙突・煙道を閉じる。
3. サウナストーブの金属部分は、お住まいの自治体の区分に従って処理する。(鉄くず回収等も利用可能です。)
4. サウナストーブのガラス部分は、ごみ処理場に持ち込むなど、お住まいの自治体の区分に従って処理してください。

使用上の注意

サウナストーブは、サウナ室をサウナ浴のための温度まで温める目的で作られています。本来の目的以外で使用しないでください。

充分な知識がない場合、また健康的理由で正しく使用することが難しい場合は、ご使用をお控えください

サウナストーブの石の量の関係で、サウナ室が理想の温度になるまで時間がかかることがあります。取扱説明書の通り、焦らずにストーブを焚いてください。規定を守らずに急いで焚いたりすると、ストーブの過熱、ストーブや煙突の損傷・破損や、火災を招く恐れがあります。正しく使用することで、ストーブの温かさが長持ちし、心地よいサウナ浴へと導きます。

サウナ浴の最適温度は60~80°Cです。

- ・ 未成年者は、大人の監督なしにサウナストーブを焚いたり、使用したりしてはいけません。
- ・ サウナストーブが燃えている間は、目を離してはいけません。
- ・ サウナストーブはサウナストーンを入れてからのみご使用いただけます。
- ・ 火災を防ぐため、サウナストーブを覆ってはいけません。
- ・ ストーブを焚いている間、またその後熱いうちにストーブに触れてはいけません。やけどの恐れがあります。
- ・ ストーブを焚くと、空気弁や灰受け皿も熱くなりますので、取り扱いには耐熱グローブや火かき棒をご使用ください。

- ・ サウナストーブが過熱したりその他の問題（煙道火災等）が発生した場合、すぐに燃焼プロセスを終了してください。灰受け皿がしっかりと閉じているか確認し、空気弁を閉じます。可能であれば、サウナ室への空気の流れを抑制します。煙道火災が発生した場合は、次の使用前に必ず専門業者に煙突・煙道掃除を依頼し、煙道・煙道とサウナストーブの状態を確認してください。
- ・ 燃焼室ドアガラスが熱くなっている時にガラスに水がかからないよう、ご注意ください。ガラスの強度はテストされていますが、燃焼室ドアのガラスはメーカーの保証対象になりません。ガラスが割れた場合、HUUMの部品・メンテナンス用品（59ページの付録4）よりご注文いただけます。

注意！ 割れたガラスのままサウナストーブを使用してはいけません

- ・ サウナストーブを長期間使用していなかった場合、ご使用前にストーブと煙突・煙道の状態を確認してください。
- ・ 安全のため、火かき棒、灰取り用ほうき、ちりとり（十能）等の道具はサウナベンチの下の温度が低い場所（40°Cまで）に保管してください。
- ・ サウナストーブの仕様を変更したり、改造したりしてはいけません

よくある問題と原因

サウナストーブのドラフトが弱い場合

- ・ サウナストーブを長期間使用しておらず、煙道や燃焼室が湿っている。
- ・ サウナストーブに十分な空気が届いていない、または換気によってサウナ室が負圧状態になっている。負圧状態は、キッチンフードの使用により引き起こされることがあります。
- ・ サウナストーブが長期間掃除されていない。
- ・ 煙突・煙道の接続部の不具合

サウナが十分に熱くならない場合

- ・ 薪が湿っている、または太すぎる。
- ・ サウナストーブの性能がサウナ室の体積に見合っていない。
- ・ サウナストーブまたは煙突のドラフトが弱い。
- ・ サウナストーンが汚れている、割れている、または適正な石でない。
- ・ サウナ室の設計・施工上の欠陥。換気の不具合。

サウナストーブから不快なおいがする場合

- ・ 慣らし焼きしていない。(36ページ「設置前の慣らし焼き」参照)
- ・ サウナストーンを事前に洗っていない。
- ・ サウナストーンに油脂分や汚れがたまっている。
- ・ ロウリュ用の水が汚れている。

サウナが過熱する場合

- ・ サウナストーブを焚く際に灰受け皿が引き出されている。
- ・ 煙突のドラフトが強すぎる。
- ・ 薪が細すぎる。乾燥しすぎている。
- ・ 薪の量、薪を加えるタイミングが間違っている。(56ページの付録 1 参照)

燃焼室ドアのガラス面に煤が付着する場合

- ・ 空気中の水分や、水分を吸着する冷たいガラス面が原因で、着火時にガラスに煤が付着するのは自然なことです。ストーブの焚き始め数分間は燃焼室ドアを数ミリ開けて表面を乾燥させ、その後完全に閉めてください。
- ・ 薪が湿りすぎている。薪は可能な限り屋内で乾燥・保管してください。

燃焼室ドアを開ける際に炎が出る場合

- ・ 炎の勢いが強いときにドアを開けないでください。どうしても開ける必要がある時は、まず 10秒間数ミリのみ開けた後、必要な分だけ開けてください。

保証

一般的な利用規約は、当社のウェブページ hum.jp/warranty でご覧いただけます



最新の資料は、メーカーのウェブサイト hum.jp でご確認ください



付録 1

製品仕様

	Flow	Flow LS	Flow Mini	Flow Mini LS
サウナ室体積 m ³	8.18	8.18	6.14	6.14
高さ mm	884	884	884	884
幅 mm	526	526	450	450
奥行き(持ち手を除く) mm	586	706	493	613
煙道接続部の直径 mm	114	114	114	114
煙突の温度等級	T450	T450	T450	T450
煙突の最小断面積 mm ²	10 400	10 400	10 400	10 400
重量(サウナストーンを除く) kg	67	73	54	59
サウナストーン重量 kg	150	150	105	105
サウナストーンの大きさ mm	50.150	50.150	50.150	50.150
燃料	薪	薪	薪	薪
薪の最大サイズ(長さ) mm	400	400	300	300
薪の推奨サイズ(長さ) mm	300	300	300	300
炉内の最大薪量 kg	5	5	3,8	3,8
薪の最小燃焼時間 分	75	75	65	65
最大薪量(1回目、着火時)	2,2	2,2	1,8	1,8
薪の最小燃焼時間(1回目、着火時) 分	35	35	35	35
最大薪量(2回目、給薪時) kg	1,8	1,8	1,4	1,4
時間毎最大燃焼量 kg/1時間	4	4	3,5	3,5
規定出力 KW	9,8	9,8	8,5	8,5
燃焼効率 %	74,9	74,9	75,1	75,1
定格熱入力時の平均排ガス温度 °C	339	339	319	319
定格熱入力時の最高排ガス温度 °C	385	385	343	343
CO (13% O ₂) mg/m ³	346	346	686	686
PM (13% O ₂) mg/m ³	17	17	14	14
NO _x (13% O ₂) mg/m ³	68	68	81	81
OGC (13% O ₂) mg/m ³	34	34	51	51
排ガスの質量流量 g/s	8,6	8,6	7,9	7,9

付録2

HIVE FLOW 適合宣言書

EN 15821:2010 家庭用暖房器具 サウナ用再過熱機能付き薪ストーブ		
<ul style="list-style-type: none"> ・ サウナストーブHIVE Flow ・ サウナストーブHIVE Flow LS BlmSchV Stufe 2 01/26/2010 DIN EN 13240 ECODESIGN 2022 2015/1185		
火災安全性		適合
離隔距離	背面 (mm)	150
	横 (mm)	150
	上 (mm)	1000
燃焼生成物の排出		適合
表面温度		適合
有害物質の排出		NPD
清掃性		適合
排ガス温度		339 °C
機械的強度		適合
加熱能力とエネルギー性能		
CO (13% O ₂)		346 mg/m ³
PM (13% O ₂)		17 mg/m ³
NO _x (13% O ₂)		68 mg/m ³
OGC (13% O ₂)		34 mg/m ³
総合的効率		74,9 %
煙道ドラフト		12 Pa
加熱能力		9,8 kW
薪量		5 kg+2.2 kg+1.8 kg
使用期間		適合

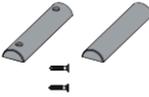
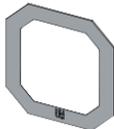
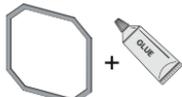
付録3

HIVE FLOW MINI 適合宣言書

EN 15821:2010 家庭用暖房器具 サウナ用再過熱機能付き薪ストーブ		
<ul style="list-style-type: none"> ・ サウナストーブHIVE Flow Mini ・ サウナストーブHIVE Flow Mini LS BlmSchV Stufe 2 01/26/2010 DIN EN 13240 ECODESIGN 2022 2015/1185		
火災安全性		適合
離隔距離	背面 (mm)	150
	横 (mm)	150
	上 (mm)	1000
燃焼生成物の排出		適合
表面温度		適合
有害物質の排出		NPD
清掃性		適合
排ガス温度		319 °C
機械的強度		適合
加熱能力とエネルギー性能		
CO (13% O ₂)		686 mg/m ³
PM (13% O ₂)		14 mg/m ³
NO _x (13% O ₂)		81 mg/m ³
OGC (13% O ₂)		51 mg/m ³
総合的効率		75,1 %
煙道ドラフト		12 Pa
加熱能力		8,5 kW
薪量		3.8 kg+1.8 kg+1.4 kg
使用期間		適合

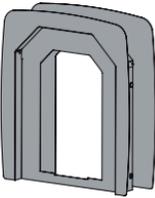
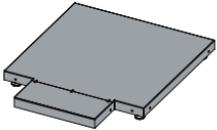
付録4

部品・メンテナンス用品

製品コード	対象モデル	名称	図
SP0092	全モデル	ロストル	
SP0093	全モデル	掃除口	
SP0094	全モデル	木製ドア取っ手 (ネジ付き)	
SP0095	Flow	灰受け皿	
SP0096	Flow LS		
SP0097	Flow Mini		
SP0098	Flow Mini LS		
SP0099	Flow/Flow LS	ドアガラス (外側)	
SP0100	Flow Mini / Flow Mini LS		
SP0101	Flow / Flow LS	ドアガラス (内側、ガスケット付き)	
SP0102	Flow Mini / Flow Mini LS		
SP0103	全モデル	ガスケット (接着剤込み)	
SP0106	全モデル	ガスケット用接着剤	
SP0107	全モデル	ドア固定用軸受 (ボルト付き)	

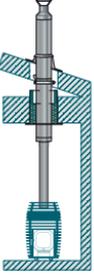
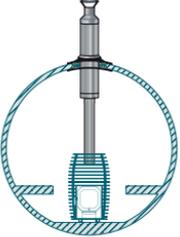
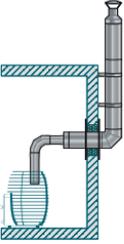
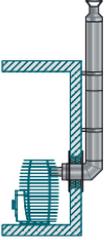
付録5

別売品

製品コード	名称/モデル	図
H3017011	床面保護板 ハイブフロー全モデル	
H3016021	ステンレス製取付カラー ハイブフローLS	
H3016031	黒色取付カラー ハイブフローLS	
H3018021	ステンレス製取付カラー ハイブフロー・ミニLS	
H3018031	黒色取付カラー ハイブフロー・ミニLS	
H3016011	炉台 ハイブフローLS	
H3018011	炉台 ハイブフロー・ミニLS	
H3009011	炉台 ハイブフロー	
H3008011	炉台 ハイブフロー・ミニ	
H3099021	サウナストーン Ø5~10 cm	
H3009041	サウナストーンカバー ハイブフロー全モデル 容量: サウナストーン35~40 kg	

付録5

別売品

製品コード	名称／モデル	図
H3104014	煙突キット 屋根出し	 A cross-sectional diagram showing a chimney pipe assembly installed through a roof. The pipe passes through a hole in the roof, with a rain cap on top and a base flange secured to the roof structure. A furnace is shown at the bottom.
H3105014	煙突キット パレルサウナ	 A cross-sectional diagram showing a chimney pipe assembly installed through the side of a barrel sauna. The pipe is enclosed in a protective circular sleeve and passes through a hole in the sauna's exterior wall. A furnace is shown at the bottom.
H3106014	煙突キット 壁出し	 A cross-sectional diagram showing a chimney pipe assembly installed through a wall. The pipe is connected to a furnace at the bottom and extends vertically through a hole in the wall. A rain cap is attached to the top of the pipe.
H31020214	煙突キット 背面出し	 A cross-sectional diagram showing a chimney pipe assembly installed through the back of a furnace. The pipe is connected to the furnace at the bottom and extends vertically through a hole in the back wall. A rain cap is attached to the top of the pipe.

×E

×E

HUUM

 **OF SAUNA**



#huumsauna



www.huum.jp